

分野	品格あるくまもと	戦略	九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展
		重点的に取り組む施策	熊本駅周辺の整備

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	連続立体交差事業	3,409,440 1,301,760	道路と鉄道を立体交差化する「鉄道高架化事業」を実施することにより、周辺地域の交通の円滑化や東西の一体化、さらに熊本駅周辺地域の都市機能強化を図る。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線高架下に在来線を移設する2次仮線の工事を行なった。 新幹線と在来線との相互乗換・連絡を図る地下連絡通路を完成させた。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は在来線高架橋本体工事の本格化に伴い、JR九州や熊本市など関係機関との調整を行い、「県都の品格ある陸の玄関口」として相応しい駅周辺の整備を進める。
	都市計画課	4,772,000		
2	熊本駅東口駅前広場整備事業	1,167,000 510,973	今後は、「県都の品格ある陸の玄関口」として相応しい駅周辺とするため、連立事業完了に向けた駅前広場（完成形）の計画策定に取り組む。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州新幹線全線開業に向けた東口駅前広場（暫定形）の整備を行った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 在来線の高架完了後（平成30年頃）を整備の目標とした東口駅前広場（完成形）への取り組み。
	都市計画課	25,000		
3	熊本駅周辺街路整備事業	5,430,180 3,311,128	新幹線全線開業効果を活かすため連立事業完了後の街路整備事業（春日池上線、熊本駅城山線、新市街水前寺線（交通結節））を推進する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線全線開業に向け、熊本城山線や熊本駅帯山線の道路拡幅工事を行なった。 市電を車道の中央から西側の歩道側に寄せて走行させる市電のガイドサイン化の推進など、駅周辺の交通アクセスの改善を図った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、連立事業完了に向けた駅周辺の整備のため、関係機関との調整を行い、「県都の品格ある陸の玄関口」として相応しい駅周辺の整備を進める。
	都市計画課	2,274,222		
4	熊本駅周辺都市機能誘導等推進事業	6,985 6,294	九州新幹線全線開業を契機に熊本駅周辺地域整備基本計画を踏まえたまちづくりの推進と、魅力ある駅周辺整備のための取り組みを行う。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線高架下の商業スペースに上天草等の県産品販売店を整備。 新熊本合同庁舎A棟が完成し、休止されていたB棟整備が平成23年度の政府予算に計上された。 駅周辺の散策路について、熊本市と連携して駅西口を中心に整備。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本市、経済界と連携して熊本駅周辺への都市機能導入策を検討する。 駅周辺と熊本城のある中心市街地との回遊性向上を図る必要がある。
	地域振興課	6,800		